

平成15年度ホタテガイ採苗情報（第2報）

平成15年4月18日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「大型のラーバは、全く確認されていません。」

1 ホタテガイ生殖腺指数の推移

4月9日に唐丹湾で、4月14日に山田湾で生殖腺調査を行いました。

生殖腺指数の平均値は、山田湾で12%、唐丹湾で11%でした。山田湾では、既に産卵を終了している個体が多く見られました。また、唐丹湾では、生殖腺指数が急激に低下しており、産卵が進んだものと考えられます。

$$\text{生殖腺指数} = \text{生殖腺重量} / \text{軟体部重量} \times 100$$

2 ラーバの出現状況

4月17日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバは、41個/トン確認されましたが、その殆どが200μm以下の小型のラーバで、付着間近の大型の個体は全く確認されませんでした。

なお、調査時の水深10m層の水温は5.5で、平成9～14年の平均値より2程度低めとなっています。

3 試験採苗器による付着稚貝調査

宮古漁協、広田町漁協が実施した調査では、白浜漁場で9個/袋、暮磯漁場で3個/袋の稚貝が確認されています。



図 調査地点および付着稚貝調査結果

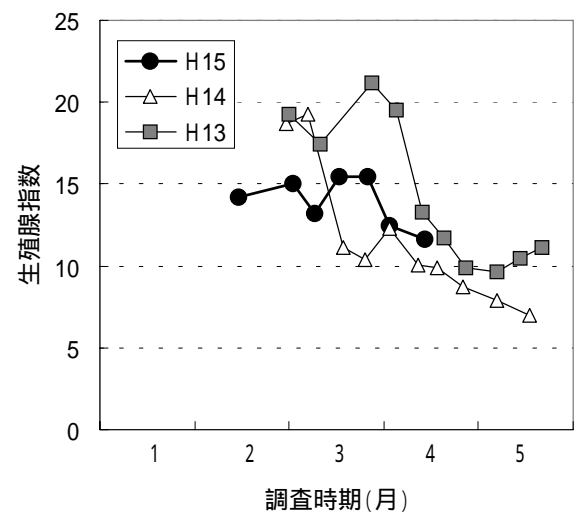


図 生殖腺指数の推移(山田湾)

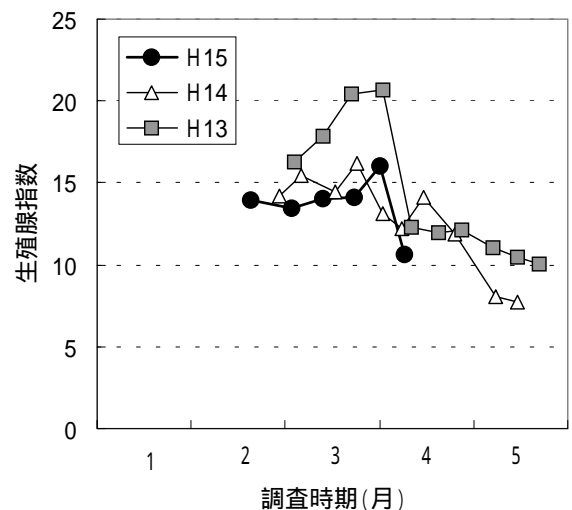


図 生殖腺指数の推移(唐丹湾)

なお、当センターでは、4月17日、唐丹湾に試験採苗器を投入しました。

今後、毎週試験採苗器を投入し、稚貝の付着状況を観察する予定です。

産卵が進み、小型ラーバが多く出現しています。しかし、付着間近の大型ラーバは全く確認されていません。また、水温も低く、付着に適した条件ではないことから、県中南部では、まだ、採苗器の投入適期ではありません。

次報は、4月25日頃発行する予定です。